

2024年11月25日

報道機関各位



全国初¹！食品循環資源のメタン発酵残さ汚泥を 「菌体りん酸肥料」として登録完了しました！

～食品循環資源のカスケード利用（飼料化・肥料化・バイオガス化）をさらに加速します～

さがみはらバイオガスパワー株式会社（本社：神奈川県相模原市、代表取締役：高橋巧一）は、このたび当社施設でのメタン発酵後に発生する消化液由来の残さ汚泥について、「菌体りん酸肥料」としての登録を完了しました。食品循環資源のメタン発酵施設由来の残さ汚泥としては、全国初の登録となります。今後は、旭肥料株式会社様（神奈川県綾瀬市）との連携により、当社の肥料原料を使用して特徴ある配合肥料を商品化し、食品循環資源の更なる有効活用と肥料自給率の向上に貢献してまいります。

菌体りん酸肥料とは

我が国は、化学肥料原料の大半を輸入に依存しています。その一方で国内には、家畜排せつ物由来堆肥や下水汚泥資源などの肥料成分を有する国内資源が多く存在し、これらの活用が期待されています。その一環として令和5年10月、肥料法²に基づく普通肥料として新たな公定規格「菌体りん酸肥料」が創設されました。

菌体りん酸肥料は、肥料の原料管理や肥料の品質管理などを定めた「品質管理計画」を作成し、農林水産大臣による確認を受けることが義務付けられます。この計画に基づいて生産されることで肥料成分が安定することから、他の肥料と混ぜて生産・販売することができるようになります。

今回の登録について

さがみはらバイオガスパワーでは、メタン発酵後の消化液を活用するため、固液分離後の残さ汚泥を廃熱等で乾燥し、肥料原料を製造しています。

令和6年4月には汚泥肥料としての登録を完了し、現在は2軒の近隣農家に全量を供給しています。

今後は食品循環資源の受入量の増加に伴い、肥料原料の製造量も増加が見込まれます。そこで、旭肥料様などの肥料メーカーへの肥料原料としての供給を実現するため、関係各所にご指導を賜りながら、このたび菌体りん酸肥料としての登録を完了しました。



¹ 2024年11月9日現在、農林水産消費安全技術センター公表情報より当社調べ

² 肥料の品質の確保等に関する法律（昭和25年法律第127号）

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社日本フードエコロジーセンター 担当：営業企画・特販部 TEL：042-777-6316 MAIL：info@japan-fec.co.jp

商品化に向けて

現在、旭肥料様との連携により配合肥料の商品化に向けた準備を進めています。

商品化後は、神奈川県内のJAとも連携し、県内の農家への供給を開始する予定です。

商品名：フードサイクル999

- 主成分…チッソ9.0%、リン酸9.0%、カリ9.0%
- 当社の肥料原料を50%使用した環境保全型の配合肥料です。
チッソ源に速効性の原料を使っていますので、生育初期から中期まで安定的な肥効が期待できます。

商品名：フードサイクルペレット555

- 主成分…チッソ5.0%、リン酸5.0%、カリ5.0%
- 当社の肥料原料を50%使用した環境保全型の配合肥料です。チッソ源に速効性の原料と有機質肥料を使っていますので、生育初期から安定的な肥効が期待できます。
- まきやすいペレット肥料です。



登録肥料の概要

登録番号	神奈川県第748号
肥料の種類	菌体りん酸肥料
肥料の名称	S B P 菌体りん酸肥料—1号
保証成分量	窒素全量 5.0 りん酸全量 3.0
登録年月日	令和6年11月8日

会社概要

社名	さがみはらバイオガスパワー株式会社
所在地	神奈川県相模原市中央区田名塩田1-16-14
代表者	代表取締役 高橋 巧一
設立	2021年8月
資本金	1億円
主な事業	発電業・廃棄物処理業



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社日本フードエコロジーセンター 担当：営業企画・特販部 TEL：042-777-6316 MAIL：info@japan-fec.co.jp